

2006年6月23日
藤沢紙工株式会社
管理部

関係者各位

RE：慶應義塾大学（SFC）デザイン言語ワークショップへの参加報告

2006年6月22日、慶應義塾大学環境情報学部のデザイン言語ワークショップ A（講義・講評会）に、当社の取締役営業部長 荒川豊（包装管理士）他2名が、参加致しましたので、ご報告致します。

当該ワークショップの佐々木一晋講師（東京大学大学院生産技術研究所）は、「地域の様々な企業との連携は、より良い講義を継続的に学生に提供する為に必要な手段である」とお考えであり、当社の「企業として地域に貢献する」という使命（ミッション）と「常に新しい知識・経験を積極的に社内に取り入れてゆこう」という姿勢とが、佐々木講師のお考えとも一致し、この度、講評会へ参加させて頂くことになった次第です。

今回のデザイン言語ワークショップ A（講義・講評会）のテーマは、Physical Package（フィジカルパッケージ）。人間のある「行為・動作」をパッケージし、その過程に於いて、学生がデザインプロセスを実体験を通して学んでゆくことを主眼としています。当社では、今回のワークショップに必要な資材（段ボールシート、クラフトテープ等）を提供し、包装管理士としての見解や本物の商品パッケージとの違い等に就いて、意見を述べてゆく形となりました。

ご参考までに、6月22日の講評会・講義の様子（写真）を下記致します。

1) 学生による作品の説明



段ボールシートのフラットな面を活かしながら、エーakanな動きをパッケージした作品。全ての作品は、中に人が出入り出来る様な設計になっている。

2) 作品に対する講評



段ボールシートを細長く切った上で縦横に編み込んで自然な曲線と柔軟性を実現した作品。当社の中で最も評価が高かった。

3) 佐々木講師による講評



パッケージの中の人の居住性や柔軟性を配慮した作品。持ち運びが容易に出来る様に工夫が施されている。

4) 講義風景



講評会後のラップアップ講義。デザインにおけるコンセプトの重要性を佐々木講師が説明。

藤沢紙工株式会社では、今後も「地域社会への貢献」や「新しい知識や経験の蓄積」を全社的に推し進めてゆく所存です。これらの取組みに関してご意見・ご質問等がある方は、下記までご連絡下さい。

藤沢紙工株式会社

管理部

川見、高橋

TEL : 0467-58-2600

FAX : 0467-58-2607

E-mail : admi@fujikoo.co.jp

以上